

待ちに待った給食
むぎごはん ナムル
ハヤシライス
くりのムース

ほぼ日刊 夢の華
Cカ a r a ト

第744号

神町中学校 夢色通信社
令和2年10月23日

合唱コンクール講評

素晴らしい合唱で、胸がいっぱいになりました。今世界中が、先の見えない大変な毎日をおくっています。新学期のスタートも大変でした。授業でも、合唱をしてはいけないような状況でした。いつもの練習ができない、いつもより早い合唱コンクール、「ちゃんと練習できたの？」と思って来ましたが、そんな心配は吹っ飛んでしまいました。

1年生の皆さん、先輩たち、カッコいいと思いませんか？ カッコ良かったですね。神中の合唱が、伝統として続いているのを実感しました。良かった点は、音程が取れていること、表現が豊かであること、歌詞をよく理解して歌っていること、曲の終わり方に工夫が見られたことです。この大変な時期に、この場所で合唱コンクールをやれたことに感謝をしてください。スポットライトを浴びた人は、この舞台にもう一度戻ってきたくなくなると言われています。ここにいる神中生から、将来、世界で活躍するようなアーティストが生まれることを期待しています。神町中学校には、「開拓者の精神」が流れています。困難な時期ですが、この攻めの姿勢をこれからも続けていって下さい。素晴らしい合唱を聴かせてくれて、ありがとうございました。(松田弥生 (前神町中学校・音楽の先生))



グランプリ	3年4組「親知らず子知らず」	準グランプリ	2年1組「翔る川よ」
3学年優秀賞	3年1組「プレゼント」	2学年優秀賞	2年2組「モルダウ」
1学年最優秀賞	1年4組「野生の馬」	1学年優秀賞	1年5組「心の瞳」

※夢色通信社では1年1組に「パフォーマンス賞」を与えることを決定した。

